

令和7年2月

定例教育委員会会議録

十日町市教育委員会

## 令和7年2月定例教育委員会会議録

### 1 開催日時、会場

令和7年2月21日（金） 13時30分～15時10分  
川西庁舎 4階 第1研修室

### 2 出席

渡辺正範教育長、浅田公子委員、廣田公男委員、渡邊奈々子委員、川崎正男委員

### 3 説明のため出席した者

教育文化部長（滝沢直子）、教育文化部副参事（鈴木政広）、教育総務課長（玉村浩之）、学校教育課長（藤田剛）、学校教育課指導管理主事（渡邊正文）、生涯学習課長（樋口具範）、スポーツ振興課長（数藤貴光）、文化財課長（菅沼亘）、森の学校キョロロ副館長（小海修）

### 4 会議の内容

#### （1）会議録署名委員の指名

署名委員：浅田委員、廣田委員

#### （2）報告事項

##### ① 共催・後援等報告

渡辺教育長

- ・事務局の説明を求めた。

各担当課長

- ・資料に基づき説明

廣田委員

・百人一首の会だが、私も2、3年前に1回参加したことがある。幼児から大人まで参加していて、小学生になるとプロ級の腕前になり、高学年になるとテレビで見ているのと同じぐらいのスピードの競技である。残念ながら、事務局の引受け手がないので今年で終わりである。あと5ページの新座市との交流だが、以前から旧中里村と新座市で交流していたものが現在も続いている。スキーで十日町市スポーツ少年団という団体があるが、これは中里の子どもスキークラブのような団体である。最近は、男子より女子の人数が非常に多い。男子は消極的であまりスキーをやりたいがらない。女子は活発でスキーでも何でもやるというような傾向がある。

渡辺教育長

・百人一首を楽しむ会の大会については、今期で終わりということで案内をいただいた。この大会の素晴らしいところは、百人一首の会だが武道館でやるというところ。武道場でやるという、その発想が素晴らしい。特徴的で長く続いてほしいと思っていたが、致し方ないと思っている。

② 報告第1号 第2回学区再編協議を行うための研究会について

渡辺教育長

- ・事務局の説明を求めた。

玉村教育総務課長

- ・資料に基づき説明

廣田委員

- ・質疑の方法について、会議のときに質問があって答えたのか、質問事項があったら用紙に書いて提出し後で取りまとめたのか。

玉村教育総務課長

- ・第1回のときも何名か質問を受けたが、時間がないので、当日質問用紙を配り、後で提出してもらい、それに対してまとめて文書で回答するというやり方である。

廣田委員

- ・研究会の目的や役割が分かりにくいということを委員から聞いている。質問の中にも3・4人同じような質問が出ているが、同じ文言で回答している。回答が分かりにくい文章だと思う。今の研究会は、どこまでいくのか。ステップ3までか。

玉村教育総務課長

- ・研究会は今年度で終了する。ステップ2.5まで。

廣田委員

- ・21ページの生徒数の推移だが、提言で10年後に2、3校、30年後に1校と言っているが、この10年後というのは、提言が6年なので、6年から数えた10年後なのか、それとも、今はもう既に7年になっているので、7年から数えた10年後なのか。例えば、令和何年度をめぐりに何校というように言い直した方が曖昧にならないのでよいと思う。検討をお願いする。学校建設には非常にお金がかかると思うが、概算でどのくらいかかるのか。公表はしなくてもよいと思うが、大体どのくらいかかるのか。改修か新設かによっても全然違うと思う。概算を今から出しておかないと予算の手当ても難しいと思う。場合によっては基金などの積立ても必要だと思う。検討をお願いする。

玉村教育総務課長

- ・25ページの16年度開校イメージ、建設の基本的な流れというのは、新設で学校を作る場合のおおよそのイメージということで出している。学校を作ると最低でもこのくらいかかる、こういう感じのスケジュールになるということをイメージで示したものの。いつから10年後かということだが、具体的な話になればなるほど、年度というものを改めて示す必要があると思う。

鈴木教育文化部副参事

- ・財政的な面は、今後何クラスぐらいにするかという規模観を見ながら、今ある県内同じような自治体の学校をシミュレーションして、このぐらいの人数、このぐらいのクラスは大体どのぐらいの平米の学校が必要だということを目論んで、それに建築費、平米当たりいくらというのを見込んで、それで大体概算は今出せる。そうすると、約1万2,000平米で大体50億ぐらいになる。毎年1割ずつ建築費が上がってきているの

で、1年延びるとまた1割上がる。どんな学校にするか、例えば教科教室型というのが今はやっていて、子どもたちが教科ごとにクラスを回るということで、クラス数が相当減らせることができるが、どういう学校を作るかによって変わってくる。あわせて、基金も当然必要となってくる。

川崎委員

・地域ごとに協議をすることになっていくわけだが、そこでの決め方は。それぞれの地域に任されているのか。

玉村教育総務課長

・こちらからこの人を委員にしてこうしなさいということとは言えない。お任せというのは無責任な感じがするが、ある程度自主性に委ねるしかないと思っている。自治組織も中学校区と振興会の組織イコールのところから、1つの中学校に複数自治組織が入ってくるところなど、いろんな形態がある。それぞれの自治組織が広く意見収集をしてほしい。

川崎委員

・新潟大学の穴戸教授の講義の中で、地域づくりは学校づくり、学校を中心に地域の自治体がまとまってくる、そういうことを大事にした方がよいという発言があった。穴戸教授によると、小学校区を中心に100人程度の学校が望ましいと言っていた。小学校と中学校で違うと思うが、学校再編というと小学校と中学校が一緒になって何かもう学校がなくなるみたいな印象があるが、地域としてのまとまりを例えば小学校単位で大事にして、中学校ではさらにその範囲を広げていくなど、その辺をしっかりと打ち出していてもよいと思った。

玉村教育総務課長

・コミュニティ・スクールや地域との密着性というのは、小学校がより強いと考えている。今進めているのは中学校の学区再編であり、中学校と地域の関わりは、より広い視野で全市的なものというふうに整理をしていきたいと思っている。今後もそのような観点を広く踏襲することをしていきたい。

渡辺教育長

・この問題、実はまだまだいろんな課題があり、それぞれ所管で検討を重ねていく必要がある。学校を新しく作る場合、どういう課題があるのか。30年後は1校になるという言い方をしたとき、1校は作るということは最低限見えると思うが、10年後に2校、3校というのは、新設なのか、既設校舎を改修するのか、選択肢が全然違ってくる。今ほど川崎委員のお話のように、捉え方として中学校と小学校の学区再編と一緒に考えている方が非常に多いと思う。小学校は、地域と密着していくということもしっかり示す必要があると思う。その上で、中学校は、より広い視点で多様な人たちと触れ合う機会をどうつくっていくかということをきちんとお知らせする必要があると思う。

### (3) 議決事項

#### ①議案第1号 令和7年市議会第1回定例会提出補正予算案の承認について

渡辺教育長

・議案第1号を上程し、事務局の説明を求めた。

各担当課長

- ・資料に基づき説明

(特に質疑なく、全員挙手で決定した。)

②議案第2号 令和7年市議会第1回定例会提出令和7年度当初予算案の承認について

渡辺教育長

- ・議案第2号を上程し、事務局の説明を求めた。

各担当課長

- ・資料に基づき説明

渡邊委員

- ・46ページの新規予算だが、骨格予算ということで必要最低限を盛り込んでという話だったと思うが、必要最低限としてこれは認められたということか。

藤田学校教育課長

- ・そのとおり。

渡辺教育長

- ・骨格予算なので、扶助費、法定で決められている、そういうものは必要であり計上されている。そうでないものであっても4月1日から事業実施が必要なものについて予算化が求められているもの、骨格予算としては政策的なものは一切排除しているのが本来骨格予算の定義だが、その中でも、数年前から予定されていた事項で、どうしても当初から盛っておく必要がある、それは若干計上されている。

川崎委員

- ・46ページ、47ページだが、突然出てきた印象がある。事前に小学校低学年並びに幼保小連携の必要性というのが大事だという話が教育委員会であり、それから予算化されていくというのが1番よい流れだと思う。可能な範囲で今後はそうしてほしい。低学年のほうが大変だという話だと思うが、その背景に小学校に上がるまでの状況も大事なことだと思う。こども家庭庁が5歳児健診を推進するという話で今動いていると聞いている。ぜひ十日町市でも5歳児健診を推進してほしい。5歳児みんなが健診を受けて、気になる子どもについては適切な検査、それからその後の環境等を整備していくというような形で丁寧に進めることが、低学年教育の充実にもつながってくると思う。

滝沢部長

- ・報道を見て、担当課長に5歳児健診はどうするのか聞いたが、来年はまだできないが、検討していかなければいけないということは認識している。現在は、発達支援センターが各保育園に出向き、気になることがあると、連携しながらやっているという状況である。また、就学児健診もあるので、どこの場面でどういうふうに力を入れていくかというのは、今後また検討していきたい。

藤田学校教育課長

- ・1点目について、今後は、逐次報告をしながら進めていく。

廣田委員

- ・学校給食の地産地消推進事業だが、全市で1人を選ぶということで今実際に探しているということか。

藤田学校教育課長

- ・その流れで考えている。

廣田委員

- ・例えば、おやっこ村とか川西福祉センターとか、そういう地域に野菜を集めている組織があれば、そことつなぐのは簡単だと思うが、そういうのがなく、地域によっては個々の農家と取引をしているところは、地域に詳しい人でないとなかなか難しい。委託を受ける人はあまりいないと思うので、何かもう少し考えられないか。

藤田学校教育課長

- ・募集の仕方を工夫する。

渡辺教育長

- ・この件については、今年度からずっと検討してきているが、まだ形になっていない状況である。必ず何かよい方法はあると思う。生産体制も組織の場合もあり、個人の場合もある。個人の場合は、担い手がどんどん変わってきている状況であり、それをまとめていくというのは大変難しい。1人でやるのは難しいと思う。先進事例が県内にはある。意欲のある人がぜひ現れてほしい。

廣田委員

- ・コミュニティ・スクールの関係だが、報酬と報償費で、片方は地域コーディネーターで、片方は運営協議会の委員だと思うが、私も何年かやっていたことがあり、年に2回ぐらいしか予算がないということを教頭先生から言われた。私は委員として予算が少ないし、開催回数が少ないと個人的に思った。

藤田学校教育課長

- ・本来であれば、学校運営協議会の重要な仕事として、学校運営方針の承認もあるので、グランドデザインを示して4月の初めに開催するのが正しいと思うが、現実には、こういうことでやらせていただきますという形式的なものになっている。学校運営協議会の委員の報償費は、年額で2,580円と決まっているので、何回開催してもこの額しか出ない形になっている。コーディネーターは、逆に学校へ行った回数が毎月報告され、それに対して何時間でいくらかという支払いをしている。コーディネーターと委員は、支払い方法が違う。学校運営協議会は、学校の事情等々によって大体は年2回とか3回とかになっているが、何回開催してもよい。

廣田委員

- ・多分教頭先生が、回数が増えれば1回当たりの単価が低くなり、あまりにも申し訳ないということで、回数をあまり増やさないという思いがあったのだと思う。

川崎委員

・私が現場にいたときは、年間の最後の学校運営協議会のときに次年度の学校運営方針について素案を委員の皆さんにお諮りをし、意見をいただいて、その内容を基に修正したものを、当初、グランドデザインという形で示し、承認をいただいて運営をしていたという形でやっていた。そうしたコミュニティ・スクールの在り方自体を学校長を通して情報交換する場が今なかなかないような状況で、いろんな大変なことが現場ではあるが、コミュニティ・スクールを順調に進めるうえで、そうした情報交換があったらよいと思った。コミュニティ・スクールと学校評議委員会の関係だが、十日町市のコミュニティ・スクールは、学校評議委員会をグレードアップして始まった。実質、あまり変わりがないというような話もいくつか今まで聞いた。地域学校協働本部との連携が大事になってくると思う。地域づくりは学校づくり、学校づくりは地域づくりぐらいの気持ちで地域とタイアップしながら、学校運営に対して意見を地域の立場から出していただき、そうすることによって子どもたちが地域の中で生きる、生活ができる体制が整ってくると思うし、それが地域の方のエネルギーにもなる。そういう形にすることができるとよい。なかなか実現が難しい。

藤田学校教育課長

・コミュニティ・スクールが始まって7年目になる。学校評議員制度をいまだに引きずっている面があるというのは、場所によっては事実だと思う。委員の皆さんに学校運営に参画して、その一員であるという意識を高めていかなくてはならないし、その研修会も予定していきたいと思う。

(以上の質疑のあと、全員挙手で決定した)

### ③議案第3号 令和6年度末令和7年度初学校管理職人事異動に関する承認について

渡辺教育長

・議案第3号を上程し、事務局の説明を求めた。

藤田学校教育課長

・資料に基づき説明

渡邊委員

・役職定年の教諭というのは、定年して、また教員になるということか。

藤田学校教育課長

・役職で60歳を迎えた方という意味である。60歳になると、校長自体が役職定年になり、定年の62歳まで2年間、どこかの学校で教諭として引き続き頑張ってくださいということ。

(以上の質疑のあと、全員挙手で決定した)

## 5 その他

### (1) 3月の主な行事予定について

・資料に基づき説明

(2) 次回定例教育委員会の開催日時

- ・ 3月臨時会 3月 7日(金) 13時30分から開催することを確認した。
- ・ 3月定例会 3月27日(木) 13時30分から開催することを確認した。
- ・ 4月定例会 4月24日(木) 13時30分から開催することを確認した。

以上で、15時10分に渡辺教育長が閉会を宣言した。

以上の会議録に誤りがないことを認め、ここに署名する。

会議録署名委員

会議録署名委員

会 議 書 記